

SightLine™ SMI-S Interface Agent™ for EMC® Storage Devices を使用することにより、EMC のストレージソリューションのパフォーマンスを管理するために必要なすべてのメトリクスを、EMC の SMI-S インタフェース経由で取得するように設計されています。EMC アレイに接続されているシステムからパフォーマンスデータを収集することにより、ほぼ瞬時に、サーバを調査する必要があるかどうかを知ることができるようになる、ネットワークまたは SAN は、パフォーマンスの問題のいずれかの種類をも解決します。

Supported Symmetrix arrays (supported with Enginuity™ 5x67 and above):

- ◆ Symmetrix DMX™, DMX-2 Series, DMX-3 Series
- ◆ Symmetrix 8230, 8430, 8530, 8730, 8830, z8530, z8830
- ◆ Symmetrix 5930, 5830, 5630, 3930, 3830, 3630

Supported CLARiiON arrays (supported with Navisphere® Release 16, 19, 22, 24):

- ◆ CX3-10c, CX3-20, CX3-20c, CX3-20f,
- ◆ CX3-40, CX3-40c, CX3-40f, CX3-80,
- ◆ CX200, CX300, CX300i, CX400, CX500, CX500i, CX600, CX700,
- ◆ AX100, AX100i, AX150, AX150i

SightLine は、あらゆる設定やセキュリティポリシーにも対応可能です。SightLine SMI-S Interface Agent は、今後 SMI-S に対応する他のベンダーにも対応する予定です。

アレイおよびボリュームの統計

SightLine はあなたの Symmetrix または CLARIX の構成に含まれる各アレイとボリュームの統計情報を報告します。これは、読み取りおよび書き込み要求の数、転送されるデータの量、およびキャッシュのヒット、ミス、そして衝突の数などの情報が含まれています。

バックエンド・ディレクタ統計

SightLine は、ホストシステムとストレージのキャビネットとの間でデータを管理し、転送チャンネルの統計情報を報告します。これは、ディレクタのタイプ (SCSI、ファイバチャネルなど)、ディレクタの数、ディレクタの状態、読み取りおよび書き込み要求の数、キャッシュヒットの数、PermaCache の統計およびプリフェッチ統計などの情報が含まれます。この情報は、ストレージサブシステムの "back-end" で問題があるかどうかを確認することができ、データの配置をより良くチューニングすることが出来ます。

ディレクタ・ポート統計

SightLine はディレクタポートの両方の I/O、およびポート単位の 1 秒あたりのブロック数の統計を報告します。

フロントエンド・ディレクタ統計

SightLine は、ホストシステムとストレージのキャビネットとの間でデータを管理し、転送チャンネルの統計情報を報告します。これは、ディレクタのタイプ、ディレクタの数、ディレクタの状態、読み取りおよび書き込み要求の数、およびキャッシュヒット、ミス、そしてコリジョン数などの情報が含まれます。

ストレージプロセッサ統計

SightLine は、それぞれの CLARIX ストレージプロセッサの統計情報を報告します。これには、読み取り要求と書き込み要求の数、転送されるデータの量、アイドル時間、およびキャッシュのヒット、ミス、そして衝突の数が含まれます。

リモートリンク・ディレクタ統計

SightLine は、Symmetrix のリモートデータ機能 (SRDF) 構成の 2 台の Symmetrix ユニット間のリンクの統計情報を報告します。これは、ディレクタタイプ、ディレクタ数、ディレクタの状態、読み取りおよび書き込み要求数、およびキャッシュヒット、ミス、そして衝突の数などの情報が含まれます。

論理デバイス統計

SightLine は、設定された論理デバイスのすべての統計を報告します。収集されたメトリックの読み取りおよび書き込み要求数、キャッシュによる読み取りと書き込みヒット数、読み込み、および書き込みブロック数、シーケンシャル読み取り要求の数、書込遅延数、およびデバイス容量が含まれます。

物理デバイス統計

SightLine は、設定された物理デバイスのすべての統計を報告します。収集されたメトリックは、読み取りおよび書き込み要求数、キャッシュの読み書き、読み取りのヒット数、読み込み、および書き込みブロック数、シーケンシャル読み取り要求数、遅延書込数、およびデバイス容量が含まれます。

キャビネットレベル統計

SightLine は、キャビネットはキャビネットの構成方法を表示できるようにインフラ、およびそのワークロード全体の詳細な統計情報を報告します。収集されたメトリックは、キャッシュのサイズ、キャッシュスロットの数、PermaCache に割り当てられたスロットの数、構成済みのディスクの数、秒あたりに処理される読み取りおよび書き込み要求数、同様に他の効率的な測定基準での秒あたりに処理される読み取りおよび書き込み要求数が含まれます。

すべてのシステムを統合するユニークなビュー

既にマネジメントフレームワークやインストール済みの個々のポイントを監視するシステムを持っていても、まだ SightLine が提供する価値のある利点を活用できます。既存のモニタリングシステムへの統合を通じて、SightLine は、単一の強力なソリューションを統合化されたビューで提供します。



日本サイトラインシステムズ株式会社

〒105-0014 東京都港区芝 2-29-10

ユニゾ芝二丁目ビル 3F

<http://www.sightlinesystems.co.jp/>

<http://blog.sightlinesystems.co.jp/>

<http://www.facebook.com/SightLineSystemsJapan/>

<https://www.google.com/+SightlinesystemsCoJpPlus/>

<https://twitter.com/sightlinejapan/>

<http://www.youtube.com/user/SightLineSystemsJP/>